

様式1(主な取組)

活動指標名	基幹管路の耐震化率				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	15.4% (H28年度)	17.2% (H29年度)	18.5% (H30年度)	22.3% (R1年度)	22.9% (R2年度)	31%	76.3%	5,327,378	概ね順調	<p>那覇市等30事業体で老朽化した水道施設の更新・耐震化等の整備を実施した。また県は各事業体へ老朽化施設の計画的な更新、耐震化等への取組等について指導・助言を行った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>令和3年度の基幹管路の耐震化率は集計中であるため、令和3年度計画値と令和2年度実績値より達成割合を算出している。進捗状況は概ね順調。各事業体で管路の更新・耐震化等の整備を実施し、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化を推進したことで、災害に強い水道が構築された。</p>
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度 of 取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> 市町村水道担当課長会議や担当者との協議等の際に、引続き老朽化施設の計画的な更新、水道施設整備において耐震化等への取組を指導する。 						<ul style="list-style-type: none"> 市町村水道担当者との協議等の際には、老朽化施設の計画的な更新、水道施設整備において耐震化等への取組み（基幹管路の新設、更新にあたっては耐震管を採用する等）を指導した。 水道施設整備費の予算確保に向けて国との協議を行い、また施設整備の優先順位を付け効率的に耐震化対策に向けて取り組むよう指導した。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

○外部環境の変化

・ 上水道事業と簡易水道事業との統合及び集計方法の見直しにより、耐震化されていない管路延長が増えたため、耐震化率が計画値より低い値となっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 安全な水を将来にわたって安定的に供給するため、市町村水道事業体に対し、老朽化施設の計画的な更新、耐震化等への取組を継続的に指導する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 市町村水道担当課長会議や担当者との協議等の際に、引続き老朽化施設の計画的な更新、水道施設整備において耐震化等への取組を指導する。